

・・・ AEDが到着しました。

- 心肺蘇生中にAEDが到着したら、すぐにAEDを使う準備を始めます。
- AEDが設置してある箱には、警告ブザーが取り付けてあります。AEDを取り出したら、そのまま警告ブザーを鳴らしたままでよいので、すぐに傷病者の元にもどってください。



⑦ AEDを傷病者の横に置く

- 傷病者の頭の横にAEDを置きます。



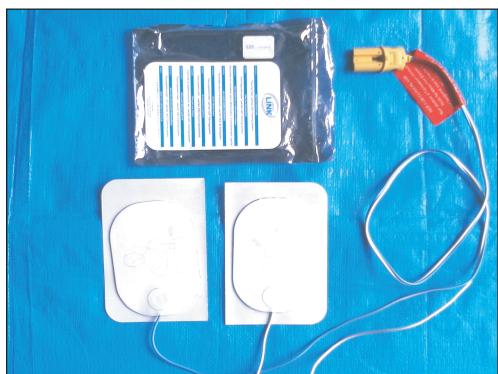
⑧ AEDの電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
(ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります)
- 電源を入れたら、以降は音声メッセージとランプに従って操作します。



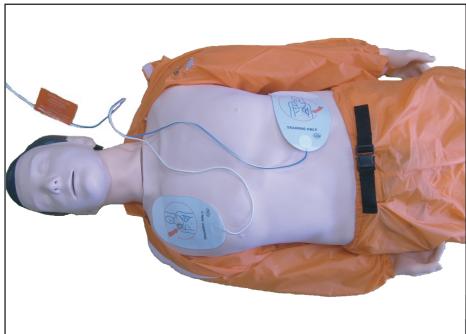
⑨ 電極パッドを貼る

- 傷病者の衣類を取り除き、胸を出します。
- 袋を開封し、電極パッドのシールをはがし、粘着面を傷病者の胸部にしっかりと貼り付けます。
(貼る位置は、電極パッドや袋に絵で示されています)
- 機種により電極パッドを貼り付けた後、ケーブルをAED本体の差込口にいれるものもあります。



電極パッド

- 電極パッドの一方は胸の右上（鎖骨の下）および胸の左下側（脇の5～8cm下）の位置に貼り付けます。
 - 電極パッドは、すき間を作らないよう、しっかりと貼り付けます。アクセサリーなどの上から貼らないように注意します。



電極パッドを貼り付ける位置

こんな時は？

- 未就学児（おおよそ6歳まで）には、小児用のパッドを使用します。小児用パッドがAEDに入っていない場合は、成人用のパッドで代用します。
※AED本体に成人と小児の切替スイッチがある機種は、小児用に切り替えます。
 - 傷病者の胸が汗や水で濡れてい るときは、タオル等でふき取り電極パッドを貼ります。
 - 胸部に貼り薬が貼られている場合ははがして、薬剤をふき取つてから電極パッドを貼ります。
 - 心臓ペースメーカーや除細動器が体内に埋め込まれているときは、胸の皮膚が盛り上がっており、下に固いものがふれることがあります。そのときは、出っ張りから離したところに電極パッドを貼ります。



濡れている胸をふき取る



パッドは皮膚の盛り上がりから離して貼りつける

⑩ 心電図を解析する

- 電極パッドを貼り付けると、音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。
- 傷病者から離れるようにとの音声メッセージが流れたら周囲の人に傷病者から離れるように指示し、誰も傷病者に触れないことを確認します。

解析中「傷病者から皆さん離れてください。」



解析中は音声メッセージに従い離れる

- 心電図の解析中は除細動が必要かどうかを調べていますので、この間は傷病者に触れてはいけません。

⑪ 除細動（電気ショック）の実施

- 除細動の必要があると判断すると、「電気ショックが必要です。」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。
- 充電が完了すると「除細動ボタン（ショックボタン）を押してください。」などの音声メッセージや、ボタンの点滅、充電完了の連続音が出ます。
- 充電中や充電が完了したら、再び傷病者に誰も触れていないかを確認して除細動ボタン（ショックボタン）を押します。

「除細動、実施！」



ショックボタンを押す

⑫ 心肺蘇生を再開

- 除細動を完了すると「ただちに胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始してください。」などの音声メッセージが流れますので、これに従ってください。
- 救急隊等に傷病者を引き継ぐまでは、電源はそのままにして電極パッドをはがさないでください。



ただちに胸骨圧迫を再開

⑬ 心肺蘇生とAEDは繰り返します

心肺蘇生を再開して2分経ったらAEDは自動的に心電図を解析します。音声メッセージに従って、傷病者から離れてください。周囲の人が傷病者に触れていないかも確認してください。

- 以後は、『⑩ 心電図解析、⑪ 除細動、⑫ 心肺蘇生を再開』の手順を約2分間おきに繰り返します。

※ 心肺蘇生はいつまで続けるのでしょうか？

心肺蘇生を中止する場合

- 傷病者が動き出す、うめき声を出す、あるいは正常な呼吸が出現した場合。この場合でもAEDの電極パッドは、はがさず電源も入れたままにしておきます。
- 救急隊に引き継いだとき。引き継ぐときは、傷病者の倒れていた状況、AEDによる電気ショックの回数などを伝えてください。